

元祖大師法然上人御法語

聖道難行の険しき道には惣じて望みを絶つべし ただ弥陀の本願の船に乗りて生死の海を渡り極楽の岸に着くべきなり

およそ生死を出ずる行一つにあらずといえどもまず極楽に往生せんと願え弥陀を念ぜよという事釈迦一代の教えに普く勧め給えり その故は阿弥陀仏本願を發して我が名号を念ぜん者我が浄土に生まれずば正覚を取らざと誓いてすでに正覚を成り給う故にこの名号を稱うる者は必ず往生するなり 臨終の時もろもろの聖衆と共に來たりて必ず迎接し給う故に悪業として障うるものなく魔縁として妨ぐる事なし 男女貴賤をも簡はず善人悪人をも分かつ至心に弥陀を念ずるに生まれずという事なし

為

令和 年 月 日

浄写